

## 委員の皆様からの主なご意見等（第2回有識者会議）

- 高校の家庭科の授業等で活用する素材として盛り込むべき内容について（パワーポイント教材）
  - ・カスタマイズできるもの。
  - ・定期購入に関するトラブル。
  - ・キャッシュレス決済についての基本的な内容。
  - ・キャッチセールスの事例や契約についてのルールなど。
  - ・電子商取引のC to CやB to Cについて。
  - ・マルチ商法や悪質なバイトへの誘導について。
  - ・ネット上での個人情報流出に関する注意事項。
  - ・ネット上から取得する情報を正しく判断することの重要性。
  - ・トラブルにあった時の対処法やアドバイス。
  
- 今後（令和3年度）の教材開発について
  - ・動画やクイズ（ワークシート）を使用する。
  - ・トラブルに巻き込まれる年表（ライフコース）を示す。
  - ・自分で考え、グループで話し合いを持てるような内容。
  - ・契約に関することや消費者トラブルの最近の事例、相談窓口など。
  - ・トラブルにあった時の対処法やアドバイス。
  - ・サービスの運営会社に連絡するときのポイントや関係する規約やガイドの案内。
  - ・確認テストなどで理解度のチェックができる。
  - ・啓発する対象者によって盛り込む内容を検討する。
  - ・高校生向けに対象者を絞って教材を開発しておけば、一般消費者や高齢の方にも幅広く利用していただけるのではないかな。
  - ・例えばクイズに回答した後に、自分の正答率が全体の何パーセントであるかなど、相対的に把握できる仕組み。
  - ・効果の検証を行い、教材はアップデートをしていく。
  
- その他、啓発方法について
  - ・e-ラーニングとか、オンライン化できると使いやすく、多くの方に利用してもらえるのではないかな。
  - ・シルバー大学校、消費者大学校など、何かの講座を受講する機会を利用する。

以上